

2) 川辺堀之内路線実証運行

1. 運行概要

種 別	内 容	備 考
運 行 開 始	平成 21 年 5 月 17 日 (日)	開設式 : 平成 21 年 5 月 16 日 (土)
起 ・ 終 点	高幡不動駅⇔豊田駅南口	
路 線 延 長	3.95 km 3.82 km	高幡不動駅⇔豊田駅南口 豊田駅南口⇔高幡不動駅
バ ス 停 数	13 箇所	新規 11 箇所、既存 2 箇所
運 行 本 数	8 往復 (9:05~16:55)	平日、土日、休日共通

2. 利用状況

種 別	内 容	備 考
利 用 者 数	31,882 人	1 月末現在
日 平 均	124 人/日	

3. 利用者アンケート調査

種 別	内 容	備 考
実 施 期 間	平成 21 年 11 月 10 日 (火) ~25 日 (水)	
調 査 対 象	川辺堀之内路線利用者	
有 効 回 答 数	170 票	
調 査 内 容	利用状況、運行開始前の移動手段 利用頻度、サービス満足度など	

4. 沿線住民アンケート調査

種 別	内 容	備 考
実 施 期 間	平成 21 年 上旬~下旬	
調 査 対 象	沿線自治会会員	川辺堀之内、豊田第一各自治会
有 効 回 答 数	780 票	
調 査 内 容	日頃の外出状況、認知度 運行開始による生活の変化など	

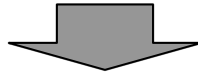
5. OD調査

種 別	内 容	備 考
実 施 日	平成 21 年 11 月 10 日 (火)	
調 査 人 数	149 名	

6. 川辺堀之内路線の見直し方策について

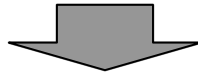
■調査結果より読み取れたこと

- 沿線地域から2駅への利用だけでなく、2駅間の利用も比較的多く、地域連携強化への寄与が期待される。
- 自動車等の運転ができない高齢者の日中の移動手段として活用されており、利用者の3割以上が「外出回数が増えた」と回答している。
- 利用者の満足度は高く、多くの人的运行継続を望んでいる。
- しかし、沿線居住者の3割は「いつ」「どこを」運行しているのかわからず、利用できない状況にある。
- 運行サービスの問題点として「運行本数の少なさ」「始発の遅さ」「終発の早さ」が挙げられており、この点については利用者の満足度も低い。
- 「バス停の環境（ベンチ、雨よけの屋根等）」についても満足度が低い。



■調査結果より今後必要と考えられる方策

- 沿線居住者への運行PR
- 運行本数の増加、運行時間帯の延長
- バス停環境の整備（ベンチ、雨よけの屋根等の設置）



■実現に向けた課題

方策	課題
沿線居住者への運行PR	有効なPR方法の検討。
運行本数の増加、運行時間帯の延長	他のミニバスに比べ利用者数が少ない状況であり、路線再編により全体のサービス向上を考えて行く中で、限られた車両・運転士を当路線に配分することは難しい。
バス停環境の整備	ベンチや上屋の設置は当路線だけの課題ではなく、市全体を対象に、必要性の高い箇所から順次整備することが必要である。



来年度は「沿線住民へのPR」を重点的に実施し、運行本数の増加は利用状況の変化を踏まえ検討する。また、バス停環境の整備については、市全体を対象に必要性の高い箇所から順次整備する。

《PR方法（案）》

利用促進を図ることが目的であるため、運行内容の周知だけでなく、利用者の定着に向け様々な取り組みを行う。

項目	内容
運行路線図及び時刻表の配布	自治会経由で全会員に配布する。経路、時刻だけでなく、運賃制度（各種割引）についても周知する。
ニュースレターの発行	利用状況や沿線案内を掲載したニュースレターを定期的に発行する。
利用促進ポスターの掲示	自治会掲示板に運行内容を掲示する。
無料試乗券の配布	情報提供を受けた人が試しに利用できるよう、路線図等と合わせ配布する。
愛称募集	愛着を深めるため、地域より募集する。（※自治会、学校に呼びかけ）
商業施設、病院との連携	利用者に帰り運賃の割引券を配布 等
絵画展等の開催	車内で絵画展、写真展、川柳作品展等を開催（市内サークル等に呼びかけ）

《運行経路図及び時刻表（自治会配布）の内容（案）》

自治会回覧による配布を想定していることから、A4サイズの両面印刷とし、以下の情報を掲載する。

- ①ルートマップ（沿線の商業施設、医療施設、公共施設を掲載）
- ②時刻表
- ③運賃（通常運賃の他、「回数券」、「定期券」、「環境定期券」、「バス利用特典サービス」の案内）
- ④ホームページURL（ネットユーザのために「busnavi.com」を案内）